

令和6年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
地理歴史	日本史探究	3	2-4

1. 学習の到達目標

1. 歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史について理解をはかる。
2. 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を養う。
3. グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。
4. 歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する力を養う。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開 第Ⅱ部 第5章 院政と武士の進出	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア大陸から現在の日本列島に人類が渡り、混血を繰り返し日本人が形成されたことを考察する。 ・ヤマト政権の権力争いや大陸文化との関係の変化に着目し、政治や外交について考察する。 ・律令国家の仕組みや、律令制が日本に与えた影響について理解する。 ・院政の成立、展開の過程を、古代から中世への歴史の転換と関連付けて考察する。
2 学 期	第6章 武家政権の成立 第Ⅲ部 近世 第7章 近世の幕開け 第8章 幕藩体制の成立と展開 第9章 幕藩体制の動揺 第10章 近世から近代へ	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の成立の過程や幕府の支配機構、将軍と御家人との主従関係などについて理解する。 ・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一の過程を把握し、織豊政権の特色とその後の時代への影響について理解する。 ・幕藩体制の確立期の社会を、身分制の仕組みや村落・都市支配などの観点から考察する。 ・討幕運動と尊王攘夷、江戸時代滅亡、新政府の発足に至る過程を理解する。
3 学 期	第Ⅳ部 近代・現代 第11章 近代国家の成立 第12章 近代国家の展開と国際関係 第13章 近代の産業と生活 第14章 恐慌と第二次世界大戦 第15章 現代の世界と日本 現代日本の課題と探究	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新の諸政策(廃藩置県・地租改正・富国強兵・殖産興業)の政策を通して日本の近代化の特徴について考察する。 ・条約改正が成立した背景と実現した諸条件について考察する。 ・近代産業の発展に伴う労働問題の発生と政府の対応や運動の展開を考察する。 ・国際情勢の変化と関連付け、国際社会への復帰とともに安保条約による日米関係成立を考察する。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期試験(中間・期末) 平常点(ノート提出、授業態度)による。
------	---------------------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	歴史の変化に関わる諸事象について、世界の中の日本を相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、歴史の様々な情報を適切、効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解する態度を身に付ける。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	日本史探究 高校日本史 (山川出版社)
副教材	日本史探究 高校日本史ノート (山川出版社)